

※ n にどんな自然数を代入しても、下の式は成立するだろうか。

$$(2n - 1)^2 = 4(n^2 - n) + 1$$

数学的帰納法

「 $1 + 3 + 5 + \dots + (2n - 1) = n^2$ 」は、

$n = 1$ のとき、(成り立つ・成り立たない)

$n = 2$ のとき、(成り立つ・成り立たない)

$n = 3$ のとき、(成り立つ・成り立たない)

すべての自然数 n について、(成り立つ・成り立たない)

「 $2^n \leq n^2 + 1$ 」は、

$n = 1$ のとき、(成り立つ・成り立たない)

$n = 3$ のとき、(成り立つ・成り立たない)

$n = 1$ のとき、(成り立つ・成り立たない)

すべての自然数 n について、(成り立つ・成り立たない)

自然数 n を含んだ命題が、**すべての自然数について成り立つ**ことを証明する方法を考えよう。
この方法を _____ という。

● 数学的帰納法 ●

自然数 n を含んだ命題が、**すべての自然数 n について成り立つ**ことを証明するためには、次の2つのことを証明すればよい。

(I) $n = 1$ のとき、命題が成り立つ。

(II) $n = \square$ のとき、命題が成り立つと _____ すると、
 $n = k + 1$ のときにも命題が成り立つ。

例 1 $1 + 2 + 2^2 + 2^3 + \dots + 2^{n-1} = 2^n - 1 \dots \textcircled{1}$ の数学的帰納法による証明

(I) $n = 1$ のとき、(左辺) = _____, (右辺) = $2^1 - 1 = 1$

よって、 $\textcircled{1}$ は成り立つ。

(II) $n = k$ のとき、 $\textcircled{1}$ が成り立つと仮定すると、

$$1 + 2 + 2^2 + 2^3 + \dots + 2^{k-1} = 2^k - 1$$

$n = k + 1$ のときの $\textcircled{1}$ の左辺は、この等式を用いると、次のように変形される。



ここで、 _____

だから、 $1 + 2 + 2^2 + 2^3 + \dots + 2^{k-1} + 2^k = 2^{k+1} - 1$

よって $\textcircled{1}$ は $n = k + 1$ のときにも成り立つ。

(I), (II) より、 $\textcircled{1}$ は**すべての自然数について成り立つ**。

問題1 次の等式を、数学的帰納法によって証明せよ。

$$1 \cdot 2 + 2 \cdot 3 + 3 \cdot 4 + \cdots + n(n+1) = \frac{1}{3}n(n+1)(n+2)$$

問題2 n が自然数のとき、 $n^3 + 2n$ は3の倍数であることを証明せよ。

(吉教科書 p.86 練習1)

※ 手順(II)について、 $n = k$ のとき、 $n^3 + 2n$ が3の倍数だと仮定すると、 $n^3 + 2n = 3m$ (m は整数) とおける。

=====

[MEMO]